学校番号	3018

令和２年度　　芸術　　科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	（２ ）単位	年次	（1）年次
使用教科書	ＭＯＵＳＡ１（教育芸術社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽的成長を目指します。
・合唱、器楽を中心に年間を通して学習します。
・音楽理論の基礎となる、リズム、音程を学んだ上で、コード理論を理解し、実際に演奏出来るように学習します。
・芸術発表会や、クラス内での発表を通して、表現力を向上させます。
・二人、グループ、クラス、学年、音楽選択者全員等と合わせて、共に協力し、お互いを尊重し、音楽を創り上げていく過程を重視します。
・生の芸術にふれ、鑑賞する力、考察する力、調べる力を向上させ、生涯にわたり芸術を楽しむ力をつけます。
・生涯を通して芸術を楽しむことが出来るような基礎となる芸術力を向上させましょう。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てると共に、感性を高め、創造的な表現と鑑賞能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽を表現することに喜びを感じ、音楽的な表現方法や音楽文化に関心をもち、積極的に表現や創造活動に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート、ノート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート、レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間	豊かな声で歌おう	【歌唱】 校歌・教科書斉唱曲	○	○			a:それぞれの単元に関心を持ち、積極的に修得しようとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容等と関わらせてどのように表現するか、表現意図をもっている。 ｃ：リズム譜を読譜し、各単元の表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察
	リズムを理解しよう	【器楽・創作】 『プリズマロック』、リズム創作	○	○	○			観察・作品提出
	4部合唱を体験しよう	【歌唱】（混声４部合唱導入） 『群青』	○	○	○			観察・演奏の聴取
	コードを理解しよう	【器楽】 キーボードを用いて音程・コード理論を学ぶ	○	○	○			観察・演奏の聴取
前期期末	4部合唱を体験しよう	【歌唱】（混声４部合唱） 『ハレルヤ』	○	○	○	○	a:現代曲に加え、古典的な難曲特徴にも関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考え、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わい、自分の表現にどのようにつなげるかを想像しながら聴いている。 ｃ：コード理論を理解し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。 b:旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し表現意図をもっている。	観察・ワークシート
	コード伴奏でキーボードを弾こう	【器楽】 自由課題：自分で選んだ曲の歌詞とコードの楽譜を制作し、キーボード伴奏で弾き歌いする。	○		○			コード演奏の聴取
	生の芸術に触れよう	【鑑賞】 『芸術鑑賞レポート』	○			○		ワークシート
	発表し表現しよう	【歌唱】 『切手のない贈り物』文化祭オープニングを合唱で飾る	○	○	○	○		観察・ワークシート
後期中間	発表を通して表現力を伸ばそう	【歌唱】 芸術文化発表に向け、合唱の完成度を深める『校歌』『ハレルヤ』『結』『クラス別課題曲』クラス発表に向け、協力して合唱曲を仕上げる 【鑑賞】 芸術の他の分野に興味を持ち、積極的に鑑賞する。	○	○	○	○	a:他と協力して主体的に楽曲を創り上げ自分の表現をしようと積極的に取り組んでいる。伝統的な和楽器に関心を持ち、音色の感受や基礎の奏法取得に積極的に取り組んでいる。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもち工夫している。 c:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能を身に付け、協力し合い創造的に表している。 d:芸術全般を理解し、特徴を理解し、自分の考えを深め、味わおうとしている。	観察・演奏の聴取・ワークシート
	和楽器を体験しよう	【器楽・歌唱】 『さとうきび畑』『島人ぬ宝』三線の基礎、弾き語りする。	○	○	○			観察・演奏の聴取・ワークシート
	生の芸術に触れよう	【鑑賞】 『芸術鑑賞レポート』	○			○		ワークシート
後期期末	ギター伴奏で歌おう	【器楽】 ギター導入：基礎の奏法を学ぶ。 自由課題：自分で選んだ曲の歌詞とコードの楽譜を制作し、キーボード伴奏で弾き歌いする。	○	○	○		a:ギターの基礎的な奏法の特徴に関心をもち、弾き語りで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 他と協力して主体的に楽曲を創り上げようとしているか。自分の表現をしようと積極的に取り組んでいるか。 b:旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、表現を工夫している。 c:演奏するために必要な基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察・演奏の聴取
	表現を深めた合唱を味わおう	【歌唱】 『夢見たものは』	○	○	○	○		観察・ワークシート
	グループ演奏	【器楽】 自由課題：自分達で選んだ曲をグループで演奏し発表する。発表会を運営する。お互いを鑑賞する。	○	○	○	○		発表演奏の聴取・ワークシート

※　表中の観点について　　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。